

第6回 群馬地域リハ研究会

日時：平成20年1月26日(土) 午後1時30分～午後5時45分

場所：群馬県公社総合ビル ホール

参加費：無料

単位認定

日本理学療法士協会(新人教育プログラム:地域におけるリハビリテーション)

日本作業療法士協会(基礎コース1ポイント)の生涯教育等の単位認定



講師紹介

長 谷川 幹
医師。脳卒中を中心として20年以上東京都世田谷区内で活躍する地域リハの第一人者。鹿教湯病院、伊藤病院、玉川病院勤務後1998年桜新町リハビリテーションクリニックを開院。日本リハビリテーション病院・施設協会理事。「あせらずあきらめず地域リハビリテーション」、「リハビリ医の妻が脳卒中になった時」など著書多数。奥様が脳卒中になり、専門医として、患者の家族として両方の視点から、講演していただく。また奥様にも脳卒中から看護師として復帰された体験談を併せて講演していただく。

【プログラム】

報告 13:30～14:00
群馬県の地域リハ関連情報

講演Ⅰ 14:00～15:30
「地域の中で自分らしく
生きるために」
NPO 法人 このゆびと一まれ
代表 惣万 佳代子

講演Ⅱ 15:45～17:45
「障害者の自立(主体性)を
地域で支える」
在宅リハビリテーションセンター桜新町
院長 長谷川 幹
「障害者となって」
日本医科大学付属病院
医療安全管理部副部長 長谷川幸子

講師紹介

惣 万 佳代子
看護師。NPO法人「このゆびと一まれ」は、赤ちゃんからお年寄りまで、障害があってもなくても一緒にケアする施設。この活動方式と、行政の柔軟な補助金の出し方を併せて「富山型」と呼び、福祉関係者の共感を呼び、滋賀、長野、愛知、徳島、熊本、佐賀へと広まりつつある。女性のチャレンジ大賞内閣官房長官表彰(H16)、男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰(H17)などを受賞。著書は「笑顔の大家族このゆびと一まれ『富山型』デイサービスの日々」など。これまでの経験を踏まえ、地域生活を支援するための地域リハのあり方について講演していただく。

平成19年12月19日(水)より受付開始、先着200名

①インターネットによる申し込み：<http://www.orahoo.com/grn/> からアクセス。

②Faxによる申し込み：氏名、ふりがな、勤務先、職種、Fax番号を明記の上、問い合わせ先まで。一度に複数名の申し込みができます。複数の場合は、参加者全員の情報を記入してください。

③往復はがきによる申し込み：氏名、ふりがな、勤務先、職種、返信宛名を明記の上、問い合わせ先まで。一度に複数名の申し込みができます。複数の場合は、参加者全員の情報を記入してください。

問い合わせ先：〒371-8514 前橋市昭和町3-39-15 群馬大学医学部保健学科
群馬リハビリテーションネットワーク事務局 角田 祐子

Tel&Fax 027(220)8966 (Faxによる申し込み)

このチラシのダウンロード先：群馬リハネット <http://www.grn-net.com/> または
群馬県地域リハ支援センター <http://www.grsc.biz/index.html> より

主催：群馬リハビリテーションネットワーク、群馬県地域リハビリテーション支援センター
後援：群馬大学地域リハビリテーション支援プロジェクト